

象でしたが、看護スタッフやこころのケア担当スタッフの巡回活動、看護により日に日に人数が減少し、表情も和らいでくるのが分かりました。

薬剤に関しては、不足しているとの情報を聞いていたため、降圧薬、感冒薬、抗生剤、消炎鎮痛剤などかなりたくさん持参していったのですが、実際に釜石市の薬局は薬剤が不足していた状態でした。事態は、日本医師会が19日に4トン分の薬剤を緊急で



写真1 栗山赤十字病院救護班およびこころのケアスタッフ

岩手花巻空港に空輸で送ったことから改善に向かい、20日から、処方日数は制限があるものの、ほぼすべての処方に対応可能となりました。

最後になりましたが、北海道の赤十字病院、赤十字社北海道支部は、4月中旬現在も引き続き被災地救護活動を行っております。一日も早い復興と被災者の方々の健康を取り戻せるように祈っています。



写真2 旧釜石市立第一中学校

北海道医師会ホームページ フォトギャラリー 作品募集

◇情報広報部◇

北海道医師会では、ホームページにフォトギャラリーを開設しております。今後、会員の皆様の作品掲載を充実していきたいと考えております。どうぞふるってご応募ください。

募集要項

【応募規定】

- 作品のテーマは自由です。
- 本人が撮影した作品に限ります。
 - フィルム：作品は原則としてポジカラー（スライド）としますが、プリントはキャビネサイズ以上であれば可です。
 - デジタル：JPEG、TIFF等の画像データ。
ただし、撮影時のオリジナル画像と大きく異なるような修正・合成等の画像処理を施したものは不可とします。
 - コメント：作品タイトルと200字程度にまとめた説明等を添付してください。
- 応募者それぞれに専用の掲載ページを作成します。同時に掲載できる作品は20点までとします。作品の入れ替えは、随時可能です。

- 肖像権やプライバシーの侵害には十分ご注意ください。当会では責任を負いかねます。
- 応募作品が著しく多数の場合、広報委員会において、フォトギャラリーへの掲示作品を選定いたします。
- 作品の応募は随時受け付けております。

【応募・問い合わせ先】

〒060-8627

札幌市中央区大通西6丁目

北海道医師会事業第一課

TEL 011-231-7661

FAX 011-252-3233

E-mail photo@m.douji.jp